

活 用 事 例	大分市立大在中学校	望月陽一郎教諭
活用事例タイトル	見る（みる）②・・・フラッシュカードの取り組み	
対象授業科目/活動	各教科（英語等）・・・校内の先生の新しい取り組みです。	
授業または活動の概要（目的、実施時期、授業の場合教科名や単元名、対象学年、参加人数、ICTの使用局面など）	<p>毎時間使う教材のひとつとして、「フラッシュカード」があります。指導者が厚紙を使ってひとつずつ作成しているのですが、タブレット・フラッシュ型教材を使うことで、「教室内がより一体となる活動」に取り組みやすくしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用教材　・・・フラッシュカード（iPad-keynote によるフラッシュ型教材を提示） 	
評価、振り返り（活動の評価や児童・生徒の声など）	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT 活用の取り組みとしては始めたばかりですが、子どもたちはタブレット画面に次々映し出される単語について、みんなでまたは1人ずつ答えていきます。 ・授業の感想で、「楽しい」「わかりやすい」などの感想も多くあり、授業への取り組み、活動として続けていきたいそうです。 ・教科によって「フラッシュカード」を使う場面は多いので、他の先生方にも紹介しやすいICTの活用例のひとつです。 	
ICT 活用により期待できる効果 ICT 活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・フラッシュ型教材は、数操作（タッチパネル）で複製が可能。問題の文章を打ち替えるだけなのでフラッシュカード作成に手間がかかりません。（問題作成時間5～10分） ・机間を回り、子どもたちの反応を確かめながら、コミュニケーションしながら問題を出すこともできます。 	
その他 (関連 WEB サイト等ありましたらご記入ください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの画面がちょうどよい大きさなので、「使いやすい」という指導者の感想でした。 	